

刊夕日一十月五

常磐每日新聞

定額一圓五角 一月五圓 三月十五圓 半年三十圓 一年六十圓
 廣告料五號十二字 第一行五圓 第二行四圓 第三行三圓 第四行二圓 第五行一圓
 日曜祭日の翌日休刊
 發行所 常磐毎日新聞社 電話六二〇〇
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

夢の哲學

眞繼 雲山

聖人に夢なしといふも、孔子は「夢に周公を見ず、徳の衰へたるかな」といふてゐるから、聖人にも夢はあつたのである。

釋尊の御説法にも夢の言葉は澤山にある、夢を知らずして夢を語ることは出来ぬから、肉身としての佛にも矢張り夢はあつた事と思はれる。

古へ祖師高僧方の御出生にあたりては、その母公、瑞夢の靈告によつて御受胎云々といふことが、殆んど紋切型に説かれてゐる。親鸞聖人の最古の傳記といはれる『御傳抄』は全巻殆んど夢物語といつてもいゝくらいに夢が多分に織り込まれてゐる、古聖はその修行にあたり夢中に何んとか靈威を感具せんとした跡の多かつたことは察し難からぬ。乞食が大名になつた夢を見ないかぎりでもないから結局夢は取りとめのないもので、五臟六腑の疲れといへば言ひ得る。それを勿体らしく翌朝になつて講釋されては聴き手はたまらずこの故に「痴人夢を語る」として誰も感服せぬが、しかし夢中の妄想は概ねその當人の品位に相應する。樂天家

に樂遊の夢あり、苦勞性は夢中にさへ苦勞するであらう。夢に周公を見ずと反省した孔子は、さすがにその聖意をその片言にさへ見ることが出来る。人前にて迂濶に夢は語るまじきぞ、はらわたを見らるゝ故なり。武士は太刀風に眼を覺ました下司は茶碗の音に眼を覺ますこと固より偶然ではない。講談本の仇討物語りなどには往々にして殺された當人が血みどろになつて夢枕に立つたといふ筋は少なからず、それほどでないにしても計報に先だちて亡者が縁者の夢中におとづれしといふ實話はこの頃でもチヨイ／＼聞く話なり。どの程度にまでゆめを靈格視すべきや、筆者は多分の疑問を存するが、この世の一事一物、鵝の毛の先きの塵といへども、宿業の報ひに

然り、不思議ではあれどゆめの念想は結局消えて跡なきこと春の淡雪の如し。然らば覺めての我れ等が念想には消えずしてあるべき何物があると問ふに、念々にして消滅し、轉轉するこ

二 明日の献立 二
 【朝】みそ汁―竹の子 わかめ
 【晝】酢みそ―あんこう ともちうど せん切
 【晚】白あへ―ひじき 人参 かんぴょう

と雷電よりも烈しく、永世に亘りて保ち得べき何物も無きこと、宛としてゆめの如し。む中の念想と覺めての念想とよく幾ばくの徑庭がある。ゆめには跡方なく覺めた行爲には跡方ありと説明する人もあらうが、人間の仕草が形として残つてゐるのは三年か五年高々千年か二千年の話である。五萬年、十萬年の後には何も残らぬとすればゆめと現實とは差引き時間の問題。その時間を差し引けば結局人生はゆめである、ゆめの人生活にゆめでなき何ものかをつかまねば人々生きてゐる空はあるまじ。

完

【ノート】 醬油や煮物汁の汚點はすぐならば水、日の経つたものは濃いカルキの溶液に浸け水濯ぎする。

あらずといふことなきが事實である以上、必ずしも五臟六腑の妄念妄想とのみ片づくべきでない。結局分らぬことは分らぬといふの外なし、これを不思議といふ

木炭代用この上のない經濟の

徳用な豆炭

壹袋正五貫目入金 八十錢也
 御注文次第御届ケ申シマス

- 三丁目(電話六六三番) 磐崎屋酒店
- 一丁目(電話五九六番) 菅本武雄商店
- 白銀町(電話二九九番) 水野氷店
- 六丁目 矢吹石炭商店
- 平驛前(電話三七番) 阿部石炭商店

◎特約店募集致シマス

五月人形陳列會

◎非常時日本の心意氣 尙武人形

◎品と値で常に祝品界をリードするフクダヤの名作品を御覽下さい。

- 御座敷飾セット 六圓ヨリ百五十圓迄
- 武者人形 一圓ヨリ三十圓迄
- 金太郎人形 五十錢ヨリ十八圓迄
- 五巾外のぼり 十圓ヨリ四十五圓迄
- 大鯉のぼり 二圓ヨリ四十八圓迄
- 二丁目の フクダヤ

旭硝子株式會社製品 板ガラス

- 赤菱印
- 菓子 壺
- 菓子 食器
- 其他 各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番)
 仙臺市榮町(電話五九七番)

短期特別大興行

バラマウント本年度超特作

大歴史劇

主演 フレドリック・マーチ エリツサ・ランドイ
 クロレデット・コルベール チャールルス・ロートン
 出場人員八千餘人
 オールトキー日本版

暴君ネロ 十四卷

慘虐艶麗壯大無比大ローマ帝國暴虐史!!
 松竹特作現代劇 オールトキー

若き日の感激 十卷

監督五所平之助 主演川崎弘子 瀧口新太郎
 齊藤達雄 日守新一

トッキー漫画

十一日 十二日 二日間
 本興行中從來發行の入場券割引券お断申候

- 普通席 小大人 一三〇〇
- 一等席 小大人 二四〇〇
- 特等席 小大人 三五〇〇

平館

(電話四六六)

外花柳科専門

木村外科醫院

入院自炊の便あり

平町五丁目際橋
 電話三〇九

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平南町(電話一七〇番)

大和田醫院

悲壯な決意を抱き

立候補断念

古研の大谷氏

古研區の豫選會にて吉村安次郎氏と共に多數を以つて町議候補に擁立された大谷要次郎氏は其後周囲より熱心な出馬慫慂あり着々準備中の處突如永山富廣氏が出馬の意志を闡明するに至つた爲め兩者の間に種々纏綿せる事情を生じ悲壯なる決意を抱いて立候補を断念し失望した有権者から非常に同情されて居る

郡下第三區 郡下第一小學校

郡下第三區 郡下第一小學校 郡下第一小學校に於て開いたが出席者は十六名にて環境整理の細目分擔調査の件及び平第一小學校長會我直治氏を講師とし来る六月の中平第一小學校に於て法規の研究會を開催する事等を決定した

良き先生たらん

第二校職員の決議

平第二小學校にては校長初め全職員が力を合せて他學校の模範たる良い學校にせねばならないと種々努力して居る事は既報の如くであるが此の程職員の日々執務標準として出勤及び退勤時間に御眞影奉安所に對し敬禮を行ふ外左の如く行ふ事を決議した

△始業前

- 一、朝會三十分前迄に出勤し名札の掛替をなす事
- 一、出勤簿諸閱覽簿に捺印する事
- 一、職員室揭示及び行事表に注意する事
- 一、教授準備教室の整理豫習復習の指導監督をなす事

李鍵公殿下

明朝平驛通過

李鍵公殿下は東北地方御旅行の歸途明日十二日午前二時廿二分平驛發上り急行列車にて平町を御通過あらせられる

- 一、児童出席席調査書及日計表に記入する事
- △放課後
- 一、掃除作業の指導をなす事

- 一、新案作製児童成績物の検閲をなす事
- 一、分掌事務及び調査提出物の整理をなす事
- 一、執務時間は第五校時終了後一時間三十分とす
- 一、退校の際は教室を巡視し名札の掛替をなす事

磐中三年生 野外演習

磐城中等學校第二學年二年二百五十名は来る十八日午前十時より好間村上野原に於て大井川配屬將校及び庄司教官指導の下に野外演習を行ふ

断然詐欺が優勢

平署四月の犯罪調べ

平警察署で花の四月中取扱つた檢舉成績を見ると總檢舉數百七十七件人員四十八名であるが同月は従來犯罪の數最高を占めて居た窃盜犯よりも詐欺の六十三件十五名が最高で窃盜は三十三件九名、横領が九件三名等であつて前月に比較して稍良成績を見た

教員會

講演と意見發表

郡下小學校教員會は来る六月二十五日午前八時より平第一小學校に於て開催されるが當日は元内郷第三小學校長仲村辰四郎氏の全國小學校教員會狀況報告及び會員の意見發表等ある外文務省圖書監修官佐野保太郎氏の『改正國語讀本編纂方針』と其の取扱法に就いてと題する講演がある

平映畫界

◇平館 發聲漫畫「浮かれ音楽」蒲田現代劇オールトキー川崎弘子、齊藤達雄、伊達里子主演
「若き日の感激」パラマ

平校醫の治療 平町各小學校にては来る六月か

懸賞尋不自轉車

弊店名義新品車 一臺
鑑札番號 福島縣一〇四、二八〇番
平 六、九四一
右新品自轉車ハ去ル三月二十二日購入セシガ、四月八日以來行衛不明トナリシ故、發見御知ラセ下サレシ方ニハ懸賞金五圓也。御届ケ下サレシ方ニハドナタニ不拘金拾圓也ノ懸賞金ヲ差上ゲマス。
平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)

共榮漆器店

漆器商 各國産

共濟病院案内

- 院長 醫學博士 石山謙二郎
- 内科 醫學博士 石山謙二郎
 - 小兒科 醫學博士 佐久間重次郎
 - 外科 醫學博士 桂有馬二郎
 - 耳鼻喉科 醫學士 五十嵐雄二
 - 喉科 醫學士 佐久間重次郎
 - 皮膚科 醫學士 佐久間重次郎
 - 産婦人科 醫學士 佐久間重次郎
 - X光線科 醫學士 佐久間重次郎
 - 衛生試驗所 醫學士 佐久間重次郎
 - 藥局 藥劑士 吉本孝平
- 診療時刻午前八時より午後五時迄
但急患は此の限りに非ず
平町 磐城共濟會
電話 六四一番

家政婦

御申込 次第早速お手傳ひに
料金は極めて低廉です
平町紺屋町二(電呼六五二)
上原家政婦會

印刷物の御用命は總て
常磐毎日印刷株式會社
電話 三六〇番

酌婦二名を斬り

遊客逃走

ゆうべ四倉の騒ぎ

石城郡四倉町仲町飲食店、來亭事鈴木豊高方へ昨十日午後十時頃登樓せる卅二三才の男が同家酌婦小松崎カメ(三)と飲酒中突然懷中にせる出刃庖丁を持ってカメの頸部を斬り付けて昏倒せしめた騒ぎに隣室に居た酌婦松原トキ(三)が駆け込むや血に狂った男はトキの顔

振られた腹癒せに 短刀で脅す

坑夫新之助檢舉さる

石城郡赤井村川瀬炭坑坑夫萩野新之助(三)は内縁の妻佐久間タツ(三)と數年前より同居して居たが本年一月隣家の同僚佐久間信吉が病死した爲め信吉の内縁の妻中川キヨミ(三)は實父と女兒を抱へ生活難に陥り居るの同情し是を扶助して居るうちキヨミと關係を結んだ結果萩野の家は風波がたいぬので最近キヨミを茨城縣磯原町の叔父佐藤兼四郎方に寄寓せしめたが最近キヨミが別れ話を持出したので本月二日變心すれば殺すと脅迫状を送つた揚句去る八日午後五時頃萩野は磯

平町の縣稅

賦課額決定

平町に於る去月中の縣稅賦課額は總計九千四百四十九圓二十二錢人員千五百四十三名であつてうち地租附加税の八千二百三十三圓九十錢千二百九十五名が最高で藝妓屋置税の六百六十一圓五十三錢廿一名營業稅六百

玉川の小作料 調停裁判

廿三日に開く

既報石城郡玉川村大字岡小名中野喜傳治對同村安立寺住職渡邊文彌の小作料調停裁判は来る二十三日午前十時より平區裁判所調停室に於て行ふ事に決定したと

仲間町の下水に 男の變死體

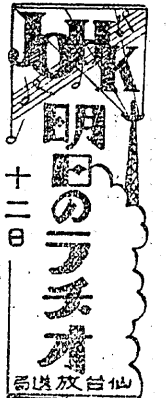
泥醉翁の身元判明

平町仲間町地下内水内に昨十日午後八時頃労働者風の變死體あるを通行人が發見届出たので平署員が檢視せる結果同人は六丁目八五居住日雇業馬場市五郎(六)と云ひ同僚方で強か泥酔しての歸途前記箇所で腦溢血の爲め絶命したものと判明し

綴局の公金横領 豫審終結決定

三郎近く公判へ

石城郡内郷村大字御厩字久世原二百番地野菜行商太田三郎(七)に對する業務上横領事件は過般來平支部に於て荒井豫審判事係りの下に取調べ中の處本日有罪と決定したので近日平支部に於て中島裁判長係り開口、竹



今晚も明日も南東の風小雨

今晚の部

後六〇〇 子供の時間 獨唱 永岡志津子 後六二五 英語講座(二十四) 細江逸記 後七三〇 講演「地球の壽命」 京都帝大教授理學

博士松山基範 後八〇〇 角力術太鼓 後八一〇 謡曲 後九〇〇 連續講談「難波戰記」第二席旭堂南陵 後九三〇 時報 ニュー ス 氣象通報 番組豫告

明日の部 前六三〇 基礎英語講座 岡倉由三郎 前九一〇 料理献立「白魚の金ぶり」宇多野繁野 前一〇三〇 家庭講座 後二〇〇 和洋合奏 後二二〇 野球試合實況 東京大學野球聯盟リーグ 戦(明治神宮外苑球場より中継) 後四一〇 大角力夏場所 實況(初日) 函技館より中

後六〇〇 子供の時間 お話「南洋」龍寶齋 後六二五 講演「鹽釜築港の竣工と東北の振興」山口十郎 後七三〇 講演「日米親善の促進に就て」法農學博士新渡戸稻造 後八〇〇 放送舞臺劇 大坂歌舞伎座より中継 後九〇〇 連續講談「難波戰記」第四席 旭堂南陵

便物の集配及び保険料の集金に従事し居りたる處昭和三年十月頃より同七年九月頃迄に同村大字宮字金坂水野テフ外約六百名の契約者より集金したる保険料千六百圓を其の都度生活費其他自己の用途に費消したものと

チヨンマゲ館屋歸る

また街頭に追出か

水觀音様

四倉外三村へ 更生助成金

郡農會で決定

平町の街道で二三年前チヨンマゲ館屋として人氣を呼んだ鎌田町下河原居住皆川七郎(三)は昭和六年四月一日内縁の妻新田ヨシ(三)を痴情から同人頸部を切付けた事件は其後平支部で殺人未遂として懲役二年を言渡され服役中であつたが二三日中に再出獄する事となつたので再び以前の姿を街道に見られるであらうと

店頭裝飾競技 褒賞授與式

いはき新報社にては来る十日午後五時よりマルトモホールに於て過般行つた店頭及びウヰンドーの裝飾競

- 湯本堆肥品評 石城郡湯本町農會では過般實施せる堆肥品評會の出品物に就いて米山農業技術員を審査長として近く町役場に審査會を開くと
- 平職業紹介所報告 回人を求める方
- △女中 三十迄 尋卒 給料面談(倉町某旅館)
- △女中 二十五迄 尋卒 月四五圓(植田町某湯屋)
- △農夫 四十以下 尋卒 給料面談(小名濱町某)
- △難夫 四十以下 尋卒 給料面談(平町某)
- 回職を求める方
- △土工 三十四才 尋三 修 給料面談(内郷村某)
- △鐵工 二十一才 高卒 給料面談(湯本町某)
- △飲食店員 二十九才 尋卒 給料面談(新湯縣某)

茶室新三郎

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉 演
近藤 紫雲 畫
上田 馬之助

第三百三十五號

放蕩止め二百兩

細川能登守侯の家臣緒方善右衛門其の伴新三郎は頗る放蕩者であるが、これは今の殿様の先代の胤として善右衛門が厳しく懲らすことも出来ない、昔は主従となると其権力は天地程の相違がある、主人の爲めには命を捨て、お上に御無理はないと云つたものです、また主人の方もよく家來の世話をした、さういふ時代ですから新三郎を押籠めることも出来ない、また勘當することもならず、困つて居ます。

これを聞いて善右衛門に同情した新三郎に劍術を教へ居る上田馬之助、これは武藝者でありながら茶屋酒の味も知り吉原の状態にも通じてゐる、酸いも甘いも噛みわけた苦勞人、これが善右衛門の許へ来て

馬「新三郎殿の道樂にはさぞ貴下は御迷惑なされるであらう」
善「實に當惑いたす、意見をいたせばとて聞き入れずいよ／＼放蕩は募るばかり何としたものであらうと彼の身を案じて近頃は御竟の如く大分瘦せましたま



た妻も新三郎の事に就ては心痛いたし打臥してのみ居ります」
馬「拙者にお任せなされたならば必ず新三郎殿を堅物に仕立て、御覽に入れる」
善「それは忝けない、彼の

身持が堅固になりますれば實に有難いことで、御承知でもござらうがあれは御先代様のお胤でございます、放蕩者にいたし置いては御先代へ對して済みませぬ」
馬「御尤も、しかしこれには入費がかゝります、その入費とても十兩や二十兩

はない、まづ二三百兩はかゝりませうな、それだけの入用をお出しなさるか」
善「次第に依つては差出しませんが何う云ふことにお用ひなさるか」
馬「それは新三郎殿を堅く致す其費用、まづお聞きなさい、今新三郎殿は女子に酔つてゐる、酔つてゐるは氣が狂ひゐるも同様、それを改心せよ腸を洗濯しろなど、申すは無理でござらう、依つて此の上にも放蕩さしてそれに飽きた時に意見を加へれば必ず堅くなる、たとへて申せば威名ある人物

を押へようとするには其人を一層偉くするがよろしいさうすれば必ず失敗を來す一升入るべき器に八合入れて置けば過ちはない、一升以上入れれば必ず溢れる、それと同じ事、今燃え盛り居るものを押へようとするは宜敷ない、それを益々燃

える様にする、今迄より一層燃えて來ると次第々々に火力が衰へて消えて終ふ、自分の敵が景氣が宜いと見たならばその人の爲めにつくし、愈々大きくする價值以上に大きくすれば必ず失脚する、之は人を滅す極意、それと同一で新三郎殿の放蕩をやめさせるにはもう一層遊ばせる、それですから費用が掛ります、先づ最初二百金頂戴いたす、これで斷切ることがならずばまた追敷をお願い申すことにする、捨てると思つて二百金お出しなさい、貴下は内福だ、してみれば二百兩は大金でありますまい、これ程の金で新三郎殿の身持が堅固になれば實にやすいもの」

善「何う云ふことに用ひますかそれを承知したい」
馬「そんな事を今此處でお話し申すことはなりません、何うせ放蕩と費用に用ゐることですから公益の爲にはなりません、然し一人助かることであれば無駄に費ふとも云はれまい、まア拙者にお任せなさい」
善「左様か、然らば金子をお渡し申す」
二百兩出した、馬之助はこれを受取ると直ぐに吉原の佐野槌へ來て此處に遊んで居る新三郎と一緒に金びら切つて豪遊をする前にも申した通り肩胛を怒らして強がつてゐるそんな無粋な武藝者ではない、歌澤などは黒人跳で今ならばラデオにかゝつて放送して

藝人共の荒膽をひしぐであらう、それに新三郎の氣に入る様に遊ぶこと、放蕩と先生大喜び、先生、先生と上田を尊び五日も六日も白粉の中に埋まつてゐる。

看護婦急派
の求めに應
じます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎 回文庫
電六三〇番
申込次第(規則書進呈)

耳鼻咽喉科専門
入院 應需
平町田町七〇番地
山内醫院
醫學士 山内亨吉
電話六九一

改稱御知らせ
新藤屋(支店)改め
鐵道省 御指定
旅館 甲陽館
店主 武田 コウ
平町驛前電話一四八番

高久病院
院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
平町田町 電話五一三番
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

お醤油は ヤマフル

醬油味噌
たひら 正宗
鯉節 食料品

鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町(電話營業部二〇釀造工場)
明治生命磐城代理店 山崎與三郎